

月	学習内容(単元)	年間学習目標	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すいせんのラッパ(物語)</li> <li>・本にしたしもう</li> <li>・自分をしようかいしよう</li> </ul>	<p><b>【国語への関心・意欲・態度】</b> ○国語に対する関心を持ち、進んで話し合ったり、適切に書いたり、読書の範囲を広げたりしようとする。</p> <p><b>【話す・聞く能力】</b> ○相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気をつけて書いたりする。</p> <p><b>【書く能力】</b> ○相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係を工夫して文章を書く。</p> <p><b>【読む能力】</b> ○目的に応じ、内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えたりしながら読む。</p> <p><b>【言語についての知識・理解・技能】</b> ○音声、文字、語句、文や文についての基礎的な事項について理解している。書写では、文字の大きさ、配列、毛筆では、点画の接し方、交わり方、方向、文字の組み立て方などを理解して文字を正しく書く。</p>	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語じてんの使い方を知ろう</li> <li>・自然のかくし絵(説明文)</li> <li>・えらんだ理由を話そう</li> <li>・かんさつしたことを書こう</li> </ul>		
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形のかわる言葉に気をつけよう</li> <li>・夕すげ村の小さな旅館(物語)</li> <li>・話を聞いてメモをとろう</li> <li>・漢字の組み立てと意味を考えよう</li> </ul>		
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ほけんだより」を読みくらべよう(説明文)</li> <li>・心にのこったことを書こう</li> <li>・慣用句を使ってみよう</li> <li>・毛筆のしせい・「一」「二」「下」「日」</li> </ul>		
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大」・知ってもらおう自分のこと</li> <li>・紙ひこうき・夕日がせなかをおしてくる(詩)</li> <li>・話したいな、夏休みの出来事</li> <li>・案内の手紙を書こう</li> </ul>		
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローマ字</li> </ul>		
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーカスのライオン(物語)</li> <li>・お話を作ろう</li> <li>・「こそあど言葉」を使い分けよう</li> <li>・もうどう犬の訓練(説明文)</li> <li>・こちら、「子ども相談室」</li> </ul>		
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究レポートを書こう</li> <li>・様子をくわしく表そう</li> <li>・俳句・毛筆「小」「つり」・横書き</li> <li>・木かげにごろり(物語)</li> </ul>		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俳句に親しもう</li> <li>・くらべて分かったことを書こう</li> </ul>		
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしたちの町の行事をしようかいしよう</li> <li>・漢字の表す意味を考えよう</li> <li>・人をつつむ形—世界の家めぐり(説明文)</li> <li>・「わたしの作品集」を作ろう</li> </ul>		
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の様子をおもいうかべながら声に出して読もう</li> <li>・毛筆「正月」「水」</li> </ul>		
年間授業時数			245
授業の工夫	○音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項の定着に向けて、ワークシート等を活用し、ノートのとりにかたも指導する。 ○学び方を身につけさせるためにめあてや学習計画を大切にするとともに、ねらいに応じてグループ学習など様々な学習形態を取り入れる。		
評価について	○単元ごとに行うテストや小テスト(漢字テスト等も含む)、提出物、発表、作文・感想文・学習のまとめなどによって評価する。 ○学習の結果のみでなく、学習に対する努力などの経過も評価する。		
学習方法(家庭学習)など	○音読(本読み)は学習の基本であり、たくさんの人から褒められることが意欲の継続につながるため、家庭の協力を得るようにする。 ○国語の基礎的な力をつけたり、心を耕したりするため、家庭でも読書を習慣化していく。 ○字は丁寧に書くことが正しく覚えるための第一歩なので、姿勢良く落ち着いて学習させる。		